



## こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

### 平成 25 年 8 月 26 日(月) 西目高校校外学習～能代学習ツアー～ 編

今年の夏も由利本荘市から秋田県立西目高等学校の土木系列の生徒さんたちが木高研に来られました。「森づくり県民提案事業」に採択された「西目高校木育(もくいく)スクール 2013」。2 台のレンタカーに分乗して、3 年生 12 名と 2 名の先生がおいでになりました。

木高研では、佐々木先生から研究所の説明や渡辺から震災の被災地・岩手県大槌町で木材を活用した復興事業の紹介と先輩たちの取り組みの紹介を受けたあと、所内のいろいろな実験施設を見学しました。

2 階の実験室では、木片を電子レンジに入れてみたり、プレスしてみたりしながら木材の不思議を体感する実験に参加。関西弁の山内先生のお話に、みんな引きこまれながら、木材の特性を学びました。

また、工法の異なる 3 棟の木造建物が並ぶ実験住宅では、木材がどんなところで活用されているのかを学びました。

昼食のあとは、恒例のお楽しみ企画、常盤地区の毘沙門憩いの森公園でカヌー体験。昨年ほど暑くもなく、風もあってなかなかのカヌー日和です。

この校外学習が夏の伝統行事となりつつあるのか、先輩たちの体験を聞いていたのか、みなさん、やる気満々です。安定性に富む 2 艘連結ではなく、スピードとスリルのある 1 艘ごとの乗船が良いということで、2 人で乗ったり 3 人で乗ったり。あぶねえ～っ、わあ～っ、ぶつかる～っなどなど、楽しそうな歓声が響きます。

意図的「沈(ちん)」も想定してきたようで、着替え持参の生徒さんも何人かいましたが、いずれも意図しないところで「沈」してしまい大慌て。ビックリした表情にみな大爆笑でした。かばんを開いてみたら着替えを忘れてきたことが発覚した生徒さん。ずぶ濡れのままでの帰路、風邪引かなかったでしょうか。

文： 渡辺 千明

秋田県立西目高等学校の HP:

<http://www.nishime-h.akita-pref.ed.jp/>



熱と水分で変化する木材の性質を知る山内秀文先生の実験は驚きと歓声の連続です。



大雨の後なだけにこの日のため池は満水。深いところは 10m 以上と聞き、始めはおっかなびっくりで漕ぎ出します。



予期せぬところでの「沈」にビックリ！



帰るまでに乾くかなあ



先輩たちが作った木製プランターカバーは今年も大槌町の仮設商店街で使われています(6月27日撮影)。